

正木ダム

勝浦川は勝浦郡と那賀郡の境、雲早山・高丸山にその源を発し、上勝町、勝浦町、小松島市、徳島市を貫流して紀伊水道に注ぐ県内最大の二級河川で、この間の流路延長49.6km、流域面積224km² に及んでいます。

正木ダムは、勝浦川水系勝浦川の徳島県勝浦郡上勝町正木地先における多目的ダムで、勝浦川総合開発事業の一環をなし、洪水調節、河川環境の保全、かんがい用水、工業用水を供給すると共に併せて発電を行うもので、昭和39年度から建設が始まり、昭和52年度に完成しました。正木ダムの高さは67m、総貯水容量1,505万m³となっています。

発電による正木ダム直下流の無水及び減水区間を解消し、清流の復活、水質の改善及び生態系の保全等の水環境の改善を図るため、平成13年4月から維持放流を行っています。また、この河川維持放流のエネルギーの有効活用を図るため、平成23年9月に小水力発電設備を整備し、管理用電力の一部として利用しています。



正木ダム

目 的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、発電、工業用水
ダム形式	重力式コンクリートダム
集水面積	94.7km ²
湛水面積	0.7km ²
ダ ム 高	67m
総貯水容量	1,505万 m ³
管 理 者	徳島県